平成24年度 事務事業評価シート

 ※平成23年度に実施した事業を評価しています

 事務事業名称
 バス利用促進
 ・・・継続・・・・

 コード
 61 - 23 - 03 - 00 予算事業名
 バス利用促進

 担当部署
 都市計画部
 都市交通政策課
 都市交通政策担当 予算事業コード 会計 10 款 02 項 01 目 14

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期	基本計画における位置付け 位置付けなしの場合	法令	たよる実施義務 義務ではない.
基本目標(章)	3章 人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法	なし
方向性(節)	2節 交通ネットワークの構築	令、条例等	/aC
施策	3 公共交通機関の充実	個別計画等の	なし
細施策	2. バス輸送の充実	名称	/4 C

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のた めに実施するのか)	市民を対象に、路線バスの利用における利便性や安全性の向上を図ることを目的として事業を実施する。
(注明以2) 主册丰段。	路線バス事業者がノンステップバス(乗降ステップをなくしたバス)を導入する際に、費用の一部について補助 金を交付する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額			2,669	1,050	4,565	3,764	4,982	
	事業費	Α	2,531	746	3,111	2,767	4,982	4,982
	人件費	В	5,920	4,440	5,180	5,180	5,180	5,180
総コスト(C=A+B)		8,451	5,186	8,291	7,947	10,162	10,162	
正規職員(1年間の従事人数)			0.80人	0.60人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人
臨時職員(1年間の従事人数)								
国県支出金 D								
その他特定財源 E								
市の財政負担(=C-D-E)		8,451	5,186	8,291	7,947	10,162	10,162	

4. 成果指標・活動指標による分析

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額 ※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	ノンステップバス導 入率	%	75.0	81.6	83.1	87.4	各営業所が運行しているバスに おけるノンステップバスの割合
活動	ノンステップバス導 入費補助台数	台	3	1	4	9	各営業所が導入したノンステップ バスのうち補助金を交付した台数
-	中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。					
1	指標に基づく評価 車両の更新時や新規導入時においてノンステップバスの導入が進められており、おおむね順調に推移している。						

5. 事業の実施を通じた分析・評価

高齢者や子供も乗り降りが容易であり、補助スロープにより車いすでの乗降もスムーズに行えるノンステップバスの導入が順調に進んでおり、現時点での課題はない。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

埼玉県は、バス事業者がノンステップバスを導入する際に補助金を交付しており、平成21年度末現在で埼玉県のノンステップバス導入率は全国第4位の46.32%となっている。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

ノンステップバスは、ワンステップバスやツーステップバスと比較して価格が割高であり、事業を廃止・縮小した場合にはノンステップバ スの導入が進まなくなるおそれがある。

(4) 所属長自己評価(今後の方向性) 継続 継続

高齢化の進展や利用者のニーズに対応してより利用しやすい路線バスとする上でも、事業として継続する必要がある。